

見立てシート

<基本情報>

令和 年 月 日作成

児童生徒	ふりがな		性別	生年月日	年 月 日生 ()歳
	氏名				学校 年
	住所				
家族構成	氏名	続柄	年齢	勤務先、在籍校、特記事項	

<気になる点> チェックシートから具体的特徴を整理する

該当に○・・・問題行動・非行・いじめ・不登校・人間関係・発達障害・家族問題・虐待・その他()
【いつから、状況、理由、原因】
現在の対応状況

<児童生徒を取り巻く環境>チェックシートから考えられる背景を整理する

児童生徒の状況	【生育歴(発達状況、保育園、幼稚園への所属、乳幼児健診、予防接種履歴等)、既往症、性格、意思、気持ち、問題行動の有無】							
	【学校での様子(クラス、クラブ活動)、交友関係、先生との関係、学力】							
児童生徒の欠席状況	小学校	1年()	2年()	3年()	4年()	5年()	6年()	日
	中学校	1年()	2年()	3年()	日			
保護者の状況	【養育意識、学校との関わり、保護者の意向、経済状況等】							
現在家庭に関わっている機関								

<見立て>

行動の背景原因	チェックシートから、考えられる問題行動の原因(直接的、間接的)、きっかけ、子どもがどのような育ちをしてきたかなどをまとめる

<今後の対応>

	校内体制		その他
今後の課題			
具体的な対応方法 (誰が、何を、いつまでに)			
学校以外の機関との連携の必要性	有・無	機関名	教育委員会、教育センター、他の教育機関() 市町村【生活保護・障害福祉・児童福祉・保健センター・その他()】 児童相談所、健康福祉センター(保健所)、民生委員、主任児童委員 警察(警察署・少年センター)、家庭裁判所、医療機関() その他機関団体()

見立てシート(サンプル)

令和 年 月 日作成

<基本情報>

児童生徒	ふりがな	いなげ さほたろう	性別	男	生年月日	平成 23 年 10 月 1 日生 (14) 歳
	氏名	稲毛 サポ太郎				〇〇市立〇〇中 学校 2 年
児童生徒	住所	〇〇市〇〇〇1-1-1				
家族構成	氏名	続柄	年齢	勤務先、在籍校、特記事項		
	稲毛 サポ男	父	40	会社員		
	稲毛 サポ子	母	38	主婦、第4子妊娠中		
	稲毛 サポ太	弟	10	××小学校 4年		
	稲毛 サポ美	妹	6	〇〇幼稚園 年長		

<気になる点> チェックシートから具体的特徴を整理する

該当に〇・・(問題行動)・非行・いじめ・不登校・人間関係・発達障害・家族問題・虐待・その他()	
【いつから、状況、理由、原因】 中学1年の秋以降授業に集中できなくなり、他生徒の学習の邪魔をしたり、担任の指示に従わず暴言を吐くなどして授業妨害をするようになった。中学2年になると、注意された後に教室を出て、他クラスの生徒を誘って校内を徘徊するようになった。いつもいらして、原因についてはよくわからない。	
これまでの対応状況	・問題行動が起こる度に担任が対応。教室を出て行ってしまったときは、職員室にいる先生に協力をお願いし、校内を探してもらっていた。 ・家庭に連絡を入れてもなかなかつながらず、生徒の校内での実態が伝わっていない。

<児童生徒を取り巻く環境>チェックシートから考えられる背景を整理する

児童生徒の状況	【生育歴(発達状況、保育園、幼稚園への所属、乳幼児健診、予防接種履歴等)、既往症、性格、意思、気持ち、問題行動の有無】 ・予防接種はほぼ未接種。乳幼児健診は1歳半は実施しているが、3歳児健診は未受診。 ・幼稚園への在籍有り。(〇〇幼稚園) ・小学校の頃は活発だった反面、元気が良すぎて他の子に暴力を振るうこともあった。 ・カッとしたりやすく、落ち着くまでは話が入らない。
	【学校での様子(クラス、クラブ活動)、交友関係、先生との関係、学力】 ・休み時間は他クラスのA、B、Cと一緒にいる。放課後も一緒に下校。 ・特に教科担任の指示には従わず、授業中にヤジを飛ばしたり妨害したりする。注意されるとふてくされて教室を出てしまう。 ・学力は低く、数学は計算が苦手(繰り下がりのある割算でつまずき有)。 ・部活は比較的、意欲的に取り組んでいる。
児童生徒の欠席状況	小学校 1年(15) 2年(20) 3年(12) 4年(18) 5年(13) 6年(16)日 中学校 1年(21) 2年() 3年()
保護者の状況	【養育意識、学校との関わり、保護者の意向、経済的状況等】 ・子どものことに関しては無関心。参観、PTA活動など、ほぼ全欠。 ・提出物などの滞りあり。問題行動の連絡をしても、なかなか電話が繋がらない。 ・祖父母が同市内に在住。帰宅は自宅だけでなく、週の半分は祖父母宅に帰宅している。 ・担任が自宅を訪問した際、家の中は雑然としていた。玄関の外にも物があふれて置いてある状況。 ・母は第4子妊娠中。
現在家庭に関わっている機関	

<見立て>

行動の背景原因	チェックシートから、考えられる問題行動の原因(直接的、間接的)、きっかけ、子どもがどのような育ちをしてきたかなどをまとめる ・両親に十分に甘えられず、自尊心が低い。 ・育てにくさから、怒られる場面が多い。話し方、人との関わり方がよくわかっていない。 ・家庭の教育力の低さにより、きちんとしたしつけはできていない。祖父母には甘やかされて育った。 ・発達障害の可能性も視野におく。(集中して学習に参加できない、教室を出てしまう) ・友だちとうまく関わることはできず、力で押しとおそうとする。友だちや先生との人間関係がうまく構築できていない。
---------	---

<今後の対応>

	校内体制	その他
今後の課題	・生徒が授業に集中できない理由、教室を出てしまう理由について探る。(学力面、生活面) ・家庭の協力を得ながら生徒指導を実施していく。	・スクールサポーターの活用 ・小学校、幼稚園とも連携し、家庭の状況について情報を得る。
目標 (誰が、何を、いつまでに)	・学校生活では怒られる場面での対応が中心であったため、それ以外の場面での学級担任の関わりを増やす。 ・今月中に保護者面談を設定する。その際、担任だけでなく、学年主任も一緒に同席する。	・今月中にスクールサポーター制度の申請を少年センターに行う。 ・3学期中に小学校、幼稚園を交えた関係者会議を開催する。
学校以外の機関との連携の必要性	機 関 名	教育委員会、 教育センター、 他の教育機関 () 市町村【生活保護・障害福祉・児童福祉・保健センター・その他 ()】 児童相談所、健康福祉センター(保健所)、民生委員、主任児童委員 警察 (警察署・少年センター)、家庭裁判所、医療機関 () その他機関団体 ()